

第4回令和3年8月9日からの大雨に係る青森県災害対策本部会議 議事録

日時：令和3年8月13日（金）16：30～16：50

場所：第三応接室

○坂本危機管理局次長

ただいまから、第4回令和3年8月9日からの大雨に係る青森県災害対策本部会議を開催いたします。本日の手話通訳者は、小山内敬子さんと、障害福祉課 山上美紀さんのお二方です。

はじめに、今後の気象の見通し等につきまして、青森地方気象台お願いいたします。

○青森地方気象台 吉田次長

青森地方気象台から、今後の雨の見通しについて説明いたします。

1ページ目には、天気図と雨雲の動きの気象実況を示しています。本州には前線が停滞しており、前線に向かって南から非常に暖かく湿った空気が流れ込んでいます。右図を見ますと、前線付近には活発な雨雲がみられ、特に中国地方では発達した雨雲がかかり、今日午前、広島県に大雨特別警報が発表になりました。昨日想定していた前線の北上は、高気圧に抑えられました。このため、昨日想定していたよりも青森県での影響は小さくなりました。

今後の予想を2ページ目で示しています。前線は西日本から東日本に北上します。北陸付近で前線上に低気圧が発生し、明日にかけて東北南部から三陸沖に進む見込みです。この前線上の低気圧の東進に伴い、青森県でも今夜から明日の前半にかけて降水を見込んでおります。

3ページ目です。これから明日にかけてのこれらによる影響は、雨のアクセントとしては、今日13日夜遅くから明日のお昼頃にかけてとみており、1時間に多いところで10ミリと考えております。今日の夕方18時から明日18時までの雨量は、津軽と下北で40ミリ、三八上北で50ミリと予想しております。警報級の可能性は、三八上北で大雨警報の可能性を今夜から明日の前半にかけて「中」と考えております。津軽と下北につきましては、警報級となる可能性は低くなったと今のところ想定しております。

続きまして、4ページ目には向こう一週間先までの天気図を示しています。15日から20日までの1日ごとの天気図を示しました。本州付近にはハッチのかかった部分、この部分では降水を予想しており、前線や低気圧の影響を受けやすい日が続く見込みです。青森県に関しては、今夜から明日の前半にかけて一つのアクセントで、次のアクセントとしては、17日の夜に日本海に低気圧が進み、これが18日にかけて東北北部、青森県に影響があると見込んでいます。

最後に5ページ目に、11時発表の一週間の天気予報を示しています。雨を予想しておりますが、今日から明日のお昼頃にかけて、その次は18日から19日にかけてです。

気象台からの説明は以上です。

○坂本危機管理局次長

ただいまの気象台からの説明につきまして、質問等あれば、よろしいですね。ありがとうございました。

続いて、本日14時現在における災害対策本部の対応状況等につきまして、統括調整部長より説明申し上げます。

○橋本統括調整部長

それでは、資料2、被害等の状況（第9報）を御覧ください。被害の状況の概要を御説明いたします。

人的被害は現時点でございません。建物の被害は引き続き調査中で、調査が進むに従って

風間浦村の戸数が変わってきております。それから孤立集落の状況ですが、むつ市赤川地区の人数が変更となっております。ライフラインの状況ですが、むつ市の断水20戸については、海上から給水車2トン分を設置しています。七戸町は、断水が1,843戸となっております。道路状況等については、後ほど関係部局から説明があるかと思えます。

それから農林水産部関係につきまして、被害額は調査中ですが、徐々に各所の被害が見えてきている状況ということでございます。災害廃棄物への対応状況について、風間浦村でむつ市からの応援を受けて、下風呂地区の可燃ごみの回収を実施しているという状況でございます。仮置場は設置を含めて検討中ということですので。

それから次のページ、県の措置の状況ですが、8月13日の分ですが、リエゾンをむつ市役所に派遣し、情報収集を開始しました。風間浦村内の避難所へ県の保健師1名を派遣、それからDCAT先遣隊を特別養護老人ホームにも派遣しております。それから8月14日以降の保健医療活動チームの支援について検討を行っております。なお、避難所の状況の14時時点の状況については、別紙に付けております。

その次のページには関係機関の活動状況を記載しております。陸上自衛隊では風間浦村下風呂地区の物資輸送を実施しております。それから、七戸町で引き続き給水支援を行っております。KDDIでは、13日、むつ市大畑町の一部2局について、佐井側より進入できるかの確認を行っているということです。それから、むつ市大畑町の一部1局について、車載基地局により対応済みですが、通信回線が復旧次第、本復旧対応を実施予定ということでございます。それから東北電力ネットワークでは、次のページになりますが、13日分、各地区それぞれ実施を行っている内容を記載しております。それからNTTでは、13日、小赤川橋復旧に伴うNTT設備の確認等を進めているということでございます。

主な変更点については、この資料に関して、以上でございます。

○坂本危機管理局次長

続いて、各部の対応状況について御説明いただきます。まず道路啓開の状況につきまして、県土整備部お願いいたします。

○岡前県土整備部長

はい、今日現在での交通不能区間ですが、易国間側、下風呂側両側からの土砂撤去を進めていった結果、15時現在で、残り0.6キロメートルほどというところまでできました。ただ、この区間は一番崩落規模が大きい場所で、かなり難儀が予想されますが、全力を傾けて作業しております。あと、小赤川橋でございますが、昨日、知事から国土交通大臣に要望したことを受け、本日、国土交通省のTEC-FORCEの方々現地を詳細に調査してくださいました。その結果、報告によりますと、国土交通省が所有している応急仮橋設置が可能という結論に至ったということでございます。これから部材とか設置方法とか詳細を詰めて、速やかに現場の方に入っていくたいということで、一部明日あたりからは、必要となるクレーンの設置場所とか、そういった作業にも取り掛かりたいというお知らせを頂いておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。以上です。

○三村本部長

県としても、連携・協力していきましょう。

○岡前県土整備部長

はい、県としても周辺部分の協力は行うということで打ち合わせをしました。

○坂本危機管理局次長

続いて、災害廃棄物の状況等につきまして、環境生活部長お願いいたします。

○佐々木環境生活部長

風間浦村ですが、先程、統括調整部長からお話があったとおり、むつ市の応援を受け、パッカー車2台が海上から下風呂地区に入って可燃ごみを回収し、15時半現在で全て作業が終わったということでした。不燃ごみや粗大ごみ等については現在のところ未定です。以上でございます。

○坂本危機管理局次長

続きまして、水道・断水関係について、健康福祉部からお願いいたします、

○工藤健康福祉政策課長

まず、むつ市における断水状況に関する現在の対応ですが、海上から赤川地区の風間浦村側の方に給水車2トン分を設置したところでございます。七戸町における断水状況に関する現在の対応状況は、取水口の土砂撤去が完了いたしまして、通常どおりの取水を実施できるようになったところです。本日14時から一部給水を開始したほか、漏水点検、それから漏水箇所の復旧作業を実施中という状況になってございます。

続きまして、DCATの部分ですが、むつ市からの要請を受け、DCATの先遣隊を特別養護老人ホーム延寿園に派遣する予定となっております。

今後の展開予測及び対策についてですが、避難所等におけるニーズ把握に努め、14日以降の保健師等の支援等を検討していくことを予定しているところでございます。

こちらから以上でございます。

○坂本危機管理局次長

続いて農林水産関係の被害状況につきまして、農林水産部お願いいたします。

○赤平農林水産部長

被害状況のうち農作物関係で水稻等の冠水、この「等」には大豆・転作大豆も含まれます。

七戸町の7地区は244ヘクタール、東北町の4地区は110ヘクタール、合わせて約360ヘクタールの冠水被害があったということでございます。そのうち、県営の土地改良事業を行っている土場川地区のところがまだ湛水している状況にあり、そのうち約86ヘクタールがまだ湛水・冠水しているということでございます。対応としましては、土地改良区のポンプ、国土交通省のポンプ、東北町のポンプ、県のポンプを合わせて7機で、現在排水作業をしています。一昨日は2.7メートルの水深がございましたが、本日正午時点で1.5メートルまで下がってきているという状況であり、排水に努めております。

それから、林業関係で林地崩壊が7箇所確認されています。また、山の方には十分入れない状況ですので、ヘリコプター等の映像にて特定し、被害の把握に努めてございます。今後につきましては国有林等もございまして、国と関係機関と調整しながら調査を実施し、対策を講じていくこととしております。

○坂本危機管理局次長

そのほか、他部局で報告事項ございますれば、挙手の上、発表願いますが、よろしいですか。

はい、よろしいですね。それでは、知事より指示事項をお願いいたします。

○三村本部長

9日から大雨に伴う災害への対応につきましては、孤立地域の解消や道路啓開等、引き続き復旧に向けた作業が進められており、被災地域・孤立地域におられる方々への支援も継続して行われているところであります。国、市町村、関係機関、そして、今回本当に民間事業者の方々などの御協力を頂いているわけですが、全ての皆様の御尽力につきま

して心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

そして先ほど気象台から御説明がございましたとおり、本日は大雨という状況にはなっていませんが、週末は三八上北を中心に土砂災害の危険性を伴う大雨警報が発表される可能性があるということでございました。これまでの雨で地盤が緩み、少しの雨でも更なる被害の拡大や新たな災害が発生する可能性がありますことから、各部におきましては、今後の気象情報に留意しながら、被災地域・孤立地域におられる方々の安全を確保いたしますとともに、早期の避難を徹底してください。

こうした中、国道279号の道路啓開につきましては、重機を増強するなど啓開作業を進めており、交通不能区間は残り0.6キロメートルと、小赤川橋部分となっております。引き続き関係機関との緊密な連携の下、早期の道路啓開に全力で取り組んでください。また復旧作業等における二次被害を防ぐため、万全の対策を講じるようお願いいたします。

被災市町村の支援につきましては、今後、よりきめ細かな被災者等の生活支援が求められていくと考えております。派遣しました情報連絡員等との連携を密にしながら、市町村が抱える課題、ニーズ等の把握に努め、積極的な支援を行ってください。

被害の全容や各種課題が明らかになりつつある中、各部及び各県民局にありましては、この難局を乗り切るため、引き続き、市町村や関係機関等とも連携しながら、一丸となって対応に当たるよう指示をいたします。

被災地域にお住まいの皆様方、また孤立地域や避難所等で避難を余儀なくされている皆様方におかれましては、不安な日々をお過ごしのことと思います。

避難生活が長期化する中、心身共にお疲れのことと存じますが、県といたしましても、市町村そして関係機関等の力を結集しながら、応急復旧等に全力を挙げて取り組んで参りますので、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

なお、今後の雨の状況によりましては、再び被害が発生する可能性がございます。厳しい状況の中ではございますが、何とぞ、御自身の身の安全を確保する行動を第一に心掛けてくださいますよう重ねてお願いいたします。以上であります。

○坂本危機管理局次長

以上をもちまして本日の災害対策本部会議を終了といたします。ありがとうございました。

なお、明日の開催予定につきましては、開催の有無も含め、後ほど御連絡申し上げますので、よろしくお願いいたします。